

令和4年度

# 食育だより 11月号

若桜町立学校給食センター

秋もいちだんと深まってきました。収穫の秋、実りの秋といわれるこの時期は、新米、魚、果物、野菜、いも、きのこなどがいっそうおいしさを増す季節です。自然の恵みや、命をいただくことへの感謝の心を持ちながら、おいしく食べてほしいと思います。

## \*\*\*感謝の心を持って食べよう\*\*\*

若桜町では児童生徒の給食費を若桜町に全額補助していただいています。また、「イチオシ若桜メシ」で使用する町内産食材の費用は若桜町に支払っていただいています。給食費ではとても賄えないほどの高額な食材や、貴重な食材を「若桜町の子どもたちのために」と提供していただきとてもありがたいことです。

学校給食は、生産者さんと調理員さん、地域の方々などたくさんの方が関わり、作られています。みなさんがそのことを意識し感謝して残さず食べることで、元気に楽しく学校生活を送ることは、給食に関わる方々への感謝の気持ちを表すことになります。



## 給食では「地産地消」を推進しています!

「地産地消」という言葉を知っていますか? 地域で生産されたものを地域で消費する取組のことです。学校給食では地産地消を通し、子どもたちへ地域の食文化や産業について伝えるとともに、生産者や食べ物への感謝の気持ちを育てていきたいと考えています。家庭でもぜひ、地産地消を意識してみてくださいね。

ちさんちしょう  
**地産地消の  
いいところ**

新鮮な旬の食材が  
食べられる

生産者の顔が見えるので  
安心感がある

食べ物を大切にする  
心が育つ

輸送距離が短くなり、  
環境に優しい

地域経済の活性化に  
つながる